

# 学校だより

第26号 ひたちなか市立勝倉小学校

令和4年9月13日(火)発行

〒312-0024 ひたちなか市勝倉3010

TEL 029-272-2546 FAX 029-273-1986



児童数314名 実家庭数 242戸

## 5年生 和太鼓体験

文化芸術による子供育成推進事業において、8日(木)に5年1組、9日(金)に5年2組が体育館で和太鼓体験を行いました。講師は、『来舞・デュオ』(らいぶ・でゅお)の過足雅之(よぎあしまさゆき)先生と照沼啓子(てるぬまけいこ)先生です。各クラスとも、2~4校時にかけて体験をしました。お二人の先生方は朝早くから来校し、8台の和太鼓を搬入したり、ソーシャルディスタンス確保のために体育館の床に目印となるテープを設置したりしていただきました。体験の内容を簡単に紹介します。



まず、太鼓の構造や各部位の名前を教えてくださいました。太鼓を半分に分けたものも教えてくださいました。太鼓は、弾むようにたたくとよいと実際にバチでたたいて手本を示してくださいました。

消毒済みのバチを一人一人に配り、いよいよ基礎体験へ。簡単なリズムから始まり徐々に難しく…。6人一組で実際に太鼓をたたきました。

基礎体験に続き、創作体験に。子供たちは、リズムよく太鼓をたたくことに慣れてきました。たたくポーズもかっこよくなってきました。みんなの前で披露する児童もいました。

最後に、講師の先生方が迫力のある演奏を披露してくださいました。子供たちは夢中で聴き、太鼓の響きに魅了されました。自分自身も実際に演奏し、講師の先生方の素晴らしい演奏を鑑賞し、5年生の子供たちにとって日本の伝統文化に触れる貴重な体験となりました。

体験終了後は、講師の先生方が約1時間かけて和太鼓の撤収作業や、バチ等の消毒作業を行ってくださいました。お世話になりました。

## 児童の登校時刻について

児童の登校時刻は、通学班会議において午前7時50分前にならないようにと確認しています。昇降口を開錠するのは、防犯面・安全面を考慮して7時45分頃となりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 中秋の名月

9月10日は「中秋の名月」でした。今年は満月と重なり、丸く美しい月を見ることができましたね。夜道で月を見つけると「あ、お月様」と指をさして教えてくれる小さなお子さんはいっぱいいますよ。そんな子供たちが大好きな月が、一年でもっとも美しく見える日が「中秋の名月」です。中秋の名月をめぐる習慣は、平安時代に中国から伝わったと言われています。日本では中秋の名月は農業の行事と結びつき、「芋名月」と呼ばれることもあります。また、「中秋の名月」には、秋の真ん中の満月という意味があり、旧暦では7~9月が秋であったため、8月はちょうど秋の真ん中ということになりますね。

## 地域の方から

地域の方からお電話をいただきました。内容は、下校時に学校の正門前の信号機付き横断歩道を渡った本校児童が、運転手さんに頭を下げてお礼の気持ちを伝えていたとのこと。とても嬉しくなりましたと学校へ連絡をしてくださいました。登校時も正門前の横断歩道を渡る子供たちは、渡り終えたところで、止まってくれた運転手さんに頭を下げています。押しボタン式の横断歩道や信号機のない横断歩道を渡る際には、しっかりと手を挙げて横断し終えた後は、運転手さんに頭を下げられるとよいですね。